

前ノ二分五厘ノ一分積立金ハ船夫一同ニ發表サレ
タシ

第三項

公務傷害二百圓以下ハ共済會ニテ負担ノコトハ百
圓以上ハ店主ニ於テ半額負担セラレタシ

第四項

公務傷害全快迄全支込ヲ支給サレタシ、但シ前記
仕込金ノ中一日金一圓也ヲ家族手當トシテ支給サ
レタシ

第五項

私病ノ場合ニテ月間ハ平常ノ通り仕込金ヲ貸與サ
レタシ其後ハ檢査結果最善ノ方法ヲ講セラレタシ
不幸ノ事故突發ノ場合ハ金三十圓以上貸與サレタ
シ其ノ返済ハ取金コリ引ク事

第六項

募金二十圓金拾五圓ハ船ノ火小ナク賞與サレタシ
但仕込金ヨリ毎月返済スルコト

第七項

仕込金ハ現在ノ終下ケサルコト

第九項

仕込金ヨリ稼働シタ場合ハ取金ノ三分ノ一支給サレ
タシ

第十項 如解決條件

從來店告誡後ハ徹夜シ組合幹部ヲ認メラレタシ

一 船夫相互會ノ負担額ハ船夫金五十錢船主補助金五十錢トス

二 稼高ニ対スルニ分五厘ノ歩合ハ全部共済會ニ組入ル事

船夫全部ヲ傷害保険ニ加入シタシ件ハ保留

但シ互助會ニ對シ船主ハ每期決算毎ニ金一百圓程度ノ補

助ヲナス事アルヘシ

共済會基金ハ每期決算ノ上發表スルコト積立金ハ店會員

ニ於テ保管ス

三 公務傷害二百圓以下共済會負担ノ事

四 公務傷害全快迄仕込金ヲ支給ス前記ノ内一日一圓ノ割合

ニテ家族手當ヲ支給ス